

東北三山などの遠征登山に参加して

高階鈴子

あ！宿題があつた。夏休みの終りに焦つた子供の頃の心境で作文します。

紀伊山地の神聖なる熊野の手つかずの自然が残る我が里と比較してみたい。いざ東北へ！

日本海を見るも太平洋と海の色が違ふ。鳥海山では、かつて経験したことのない体が飛ばされるほど程の強い風。

それぞれの名山からの裾野が緩やかで長いこと。草木の中に珍しいものも沢山あつた。

庄内平野の広さ、まつすぐな道、そして黄金色になろうとしている稲穂が、整然と手入れされている美しさに驚く。

我々には、雪の恵みも辛さもわからないが、年中亜熱帯のような暮らしをしている者とは、人間性が異なるのかな・・・。

この地の人の懸命さ、こまめさが、全体の自然の中に見受けられた。

バス移動で、しかも全員揃っていたのが良かった。何度も人員点呼をしてもらつたりしたが、車中和やかで笑いが絶えなかつた。

面白い話やトンチ話ありで、頭の体操が出来ました。又、めつたにないトラブルもあつて、物忘れの達人でも記憶に残る一コマになりました。

宿泊も食事も良かったけれども、酒と魚は熊野に軍配をあげたいと思います。

仙台から夕焼けを追っかけ、一時間もずつと見ていたらあつと言ふ間に伊丹着。

広い日本まだまだ知らない事ばかり、次も元気で仲良く連れて行つてもらいたいと思つています。ありがとうございました。